

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】令和 4 年 10 月 26 日 (2022.10.26)

【公開番号】特開 2020-111728 (P2020-111728A)

【公開日】令和 2 年 7 月 27 日 (2020.7.27)

【年通号数】公開・登録公報 2020-029

【出願番号】特願 2019-231289 (P2019-231289)

【国際特許分類】

C 0 9 B 67/20 (2006.01)

C 0 9 B 29/20 (2006.01)

C 0 9 B 29/15 (2006.01)

C 0 9 B 67/04 (2006.01)

10

【F I】

C 0 9 B 67/20 K

C 0 9 B 29/20 B

C 0 9 B 29/15

C 0 9 B 67/04

【手続補正書】

20

【提出日】令和 4 年 10 月 18 日 (2022.10.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

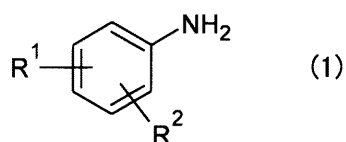
【補正の内容】

【請求項 1】

下記式 (1) で示されるベースと下記式 (2) で示されるカップラーとの反応生成物であるアゾ顔料の製造の際に、式 (3) で示される異種のベースと式 (4) で示される異種のカップラーを添加する、アゾ顔料組成物の製造方法。

30

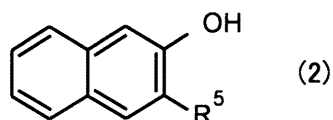
【化 1】



(式 (1) 中、 R^1 は、 $R^3 - NH - C(=O) -$ 、 R^2 は、ハロゲン原子又は $R^4 O -$ を示す。 R^3 は水素原子又はフェニル基 ($-C_6H_5$) を示す。 R^4 は炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を示す。)

40

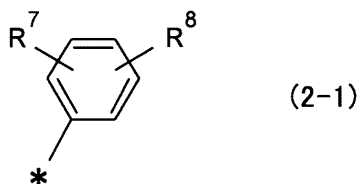
【化 2】



(式 (2) 中、 R^5 は、水素原子又は $-CONH - R^6$ を示す。 R^6 は、下記式 (2-1) を示す。)

50

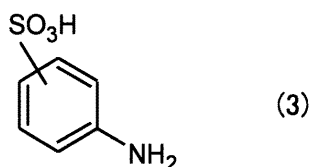
【化 3】



(式(2-1)中、 R^7 は、 $R^9-NH-C(=O)-$ 又は CH_3O- 、 R^8 は、ハロゲン原子又は $R^{10}O-$ を示す。 R^9 は水素原子又はフェニル基($-C_6H_5$)を示す。 R^{10} は炭素数1~4のアルキル基を示す。＊は結合手を示す。)

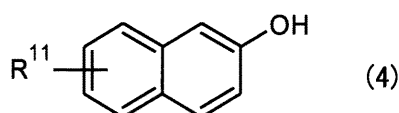
10

【化 4】



【化 5】

20



(式(4)中、 R^{11} は、 $-SO_3H$ 又は $-COOH$ を示す。)

【手続補正 2】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

30

【補正対象項目名】 請求項 5

【補正方法】 変更

【補正の内容】

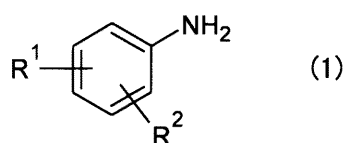
【請求項 5】

下記式(1)で示されるベースと下記式(2)で示されるカップラーとの反応生成物であるアゾ顔料を含むアゾ顔料組成物であって、

式(1)、(3)で示されるベースと、式(2)、(4)で示されるカップラーの反応生成物を含み、式(1)と式(2)の反応生成物の含量(固形分基準)が80~95重量%であるアゾ顔料組成物。

【化 6】

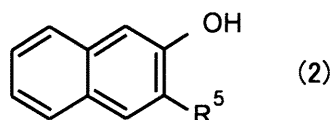
40



(式(1)中、 R^1 は、 $R^3-NH-C(=O)-$ 、 R^2 は、ハロゲン原子又は R^4O- を示す。 R^3 は水素原子又はフェニル基($-C_6H_5$)を示す。 R^4 は炭素数1~4のアルキル基を示す。)

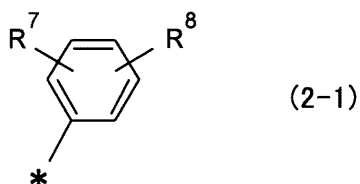
50

【化 7】



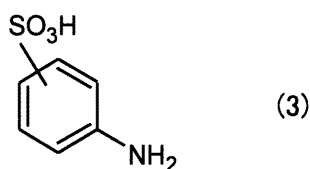
(式 (2) 中、 R^5 は、水素原子又は $-CONH-R^6$ を示す。 R^6 は、下記式 (2-1) を示す。)

【化 8】

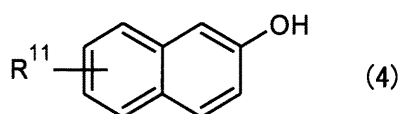


(式 (2-1) 中、 R^7 は、 $R^9-NH-C(=O)-$ 又は CH_3O- 、 R^8 は、ハロゲン原子又は $R^{10}O-$ を示す。 R^9 は水素原子又はフェニル基 ($-C_6H_5$) を示す。 R^{10} は炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を示す。 $*$ は結合手を示す。)

【化 9】



【化 10】



(式 (4) 中、 R^{11} は、 $-SO_3H$ 又は $-COOH$ を示す。)

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

(式 (2-1) 中、 R^7 は、 $R^9-NH-C(=O)-$ 又は CH_3O- 、 R^8 は、ハロゲン原子又は $R^{10}O-$ を示す。 R^9 は水素原子又はフェニル基 ($-C_6H_5$) を示す。 R^{10} は炭素数 1 ~ 4 のアルキル基を示す。 $*$ は結合手を示す。)

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0030

【補正方法】変更

10

20

30

40

50

【補正の内容】

【0030】

(式(2-1)中、 R^7 は、 $R^9-NH-C(=O)-$ 又は CH_3O- 、 R^8 は、ハロゲン原子又は $R^{10}O-$ を示す。 R^9 は水素原子又はフェニル基($-C_6H_5$)を示す。 R^{10} は炭素数1~4のアルキル基を示す。＊は結合手を示す。)

【手続補正5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0043

【補正方法】変更

【補正の内容】

10

【0043】

(式(2-1)中、 R^7 は、 $R^9-NH-C(=O)-$ 又は CH_3O- 、 R^8 は、ハロゲン原子又は $R^{10}O-$ を示す。 R^9 は水素原子又はフェニル基($-C_6H_5$)を示す。 R^{10} は炭素数1~4のアルキル基を示す。＊は結合手を示す。)

【手続補正6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0049

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【0049】

主カップラーは、前記式(2)で示すものを用いることができる。式(2)中、 R^5 は、水素原子又は $-CONH-R^6$ であればよい。 R^6 は、前記式(2-1)で示す官能基であればよく、式(2-1)中 R^7 と R^8 の結合位置は特に限定はない。 R^7 は、 $NH_2-C(=O)-$ 又は $C_6H_5-NH-C(=O)-$ 又は CH_3O- であればよい。 R^8 は、ハロゲン原子又は $R^{10}O-$ であればよい。ハロゲン原子としては、塩素原子、臭素原子等何れでもよい。 R^{10} は、炭素数1~4のアルキル基であればよく、メチル基、エチル基、プロピル基又はブチル基であればよい。プロピル基及びブチル基は直鎖状でも分岐状でもよい。このようなカップラーとしては、例えば、 $N-(5-クロロ-2-メトキシフェニル)-3-ヒドロキシ-2-ナフタレンカルボキシアミド$ 、 β ナフトール等が挙げられる。

30

40

50